

企画特集

[長州ファイブの挑戦 新時代を求めて]

③遠藤謹助／日本人の手で貨幣造る

「技術に誇り」原点は5銭玉  
国家支える要素 今も変わらず



ろう人形やモニターなどで造幣の歴史を見ることができる  
＝ロンドンのイングランド銀行博物館で

ロンドン中心部にあるイングランド銀行の見学簿に、長州ファイブの署名が残る。1864(文久4)年1月22日。通貨は近代国家に不可欠だ――。5人は、すでに造幣を視野に入れていたらしい。

井上馨、伊藤博文、遠藤謹助、井上勝は明治政府の造幣局長を務めた。中でも遠藤の在任期間は12年近く、歴代2位。「円」誕生後、日本人の手で初めて硬貨を造った。115年前、1889(明治22)年のことだ。

大阪市内を流れる旧淀川のほとりに、独立行政法人造幣局がある。ここで1、5、10、50、100、500円硬貨が生産される。その数は1日あたり約400万枚だ。

工場内の大型機械38台で刻印された硬貨はベルトコンベヤーで箱まで運ばれる。時折ザーッと音を立てて、硬貨が箱から箱へ移されていく。

出来たての500円硬貨を手にとると、薄い黄色の光を放ち、まだ温かい。硬貨の誕生だ。

厚みや重さ、硬さなどを厳密に検査する。直径なら100分の1ミリ単位。「わずかに模様がずれたら使いものにならない。神経を使う仕事です」。この仕事に携わって38年になる笹岡康宏さん(56)が言う。

自動販売機を小銭が通らないと、つい転がしてどこが悪いか見てしまう。それだけこの仕事に誇りがある。

× ×

その誇りを傷つけられた「事件」がある。99年、各地で出回った偽造500円硬貨だ。韓国の500ウォン硬貨の表面を削るなどの手法で、自動販売機が狙われた。「僕らの技術が上だという自負があるから、そりゃあ悔しかったですよ」

対応を迫られた政府は00年8月、新500円硬貨を発行した。偽造・変造対策での貨幣改鑄は戦後初めて。角度によって数字が見え隠れする刻印にし、側面に斜めギザを入れるなど工夫した。



刻印されて流れてくる500円玉に職員の厳しい目が注がれる＝大阪市の造幣局で

「多くの人が使う製品だから、決してペケものを出さんように」。笹岡さんの強い思いだ。

× ×

地域情報

列島ニュース一覧

- 北海道 青森 森
- 岩手 宮城 形
- 秋田 山形 城
- 福島 茨城 茨
- 栃木 群馬 馬
- 埼玉 千葉 葉
- 東京 多摩 摩
- 神奈川 新石 湯
- 富山 石川 川
- 福井 山根 山
- 長野 野島 梨
- 静岡 岡重 皇
- 三京 都大 知
- 兵庫 阪大 賀
- 和歌山 鳥取 良
- 島根 岡山 山
- 広島 島香 川
- 徳島 媛高 知
- 愛媛 賀本 福
- 佐賀 本崎 岡
- 熊宮 崎分 崎
- 宮沖 縄西 大
- 鹿島 鹿島 鹿
- USA USA USA

新聞購読案内

- > データベース案内
- > ケータイ向けサービス
- > ニュース映像
- > 会員サービス
- > 朝日新聞社から
- > 今日の朝刊

- ▶ 山口の天気 [各地の天気]
- ▶ ニュース
- ▶ 朝日懇話会やまぐち
- ▶ 企画特集
- ▶ 高校野球
- ▶ 読者の広場
- ▶ 朝日新聞社のイベント
- ▶ 朝日さんさん広場
- ▶ 地域の取材網



造幣局は1870(明治3)年11月に創業。イングランド銀行視察から6年。英国から中古の設備を購入し、外国人技術者に頼った。日本人の間に次第に「自分たちの手で貨幣を造りたい」と機運が高まった。

81年に遠藤は造幣局長に就任。名物の「桜の通り抜け」を発案したのも、遠藤だ。日本人の手による初の硬貨・5銭白銅貨が完成したのは、就任から8年後のことだ。

敷地内の造幣博物館は造幣の歴史を語る。第2次世界大戦末期、金属不足で有田焼や瀬戸焼の硬貨が造られた。1950年に造られたニッケル入り10円硬貨は朝鮮戦争の勃発(ぼつぱつ)で戦闘機の材料に。いまの5円硬貨は「穴＝歯車・工業、稲穂＝農業、横線＝水・水産業」を表す……。

「硬貨は時代をよく反映するのです」と塩川幸男館長(57)は話す。

× ×

99年、ヨーロッパで国境を超えた単一通貨が誕生した。カードで買い物ができ、電子マネーも登場した今、貨幣はその役割を変えつつある。だが、国家を支え、人と人を結ぶ要素として依然欠かせない存在だ。

「自分たちで造ったお金が多くの人の手を渡る。そう考えると思い入れがあります」。塩川さんはそう言って、ポケットにため込んだ小銭を大切に取出した。

(1/19)

▲④山尾庸三／水族館に生きる造船技術 >>

[| 社会 |](#) [| スポーツ |](#) [| 経済 |](#) [| 政治 |](#) [| 国際 |](#) [| サイエンス |](#) [| 文化・芸能 |](#) [| ENGLISH |](#)

ニュースの詳細は朝日新聞へどうぞ。購読の申し込みはインターネットでもできます。

asahi.comに掲載の記事・写真の無断転載を禁じます。すべての内容は日本の著作権法並びに国際条約により保護されています。

[| 著作権 |](#) [| リンク |](#) [| プライバシー |](#) [| 広告掲載と注意点 |](#) [| アサヒ・コムから |](#) [| 朝日新聞社から |](#) [| 問い合わせ |](#)

Copyright 2004 Asahi Shimbun. All rights reserved. No reproduction or republication without written permission.